

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営				
1.理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らし暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	毎日出勤時理念の唱和を行い、理念を共有し実践に向け、取り組んでいる。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフルームに掲示しており毎日出勤時、理念の唱和を行い理念を共有し実践に向け取り組んでいる。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ふれあい通信にも掲載し、運営推進会議等を利用し、地域代表の方や家族の方へ理解してもらえよう取り組んでいる。		
2.地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	併設の事業所等を利用されている利用者の方たちに声かけあったり立ち寄ってもらったりと日常的な付き合いができるように努めている。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	小・中学校の運動会・町民文化祭・花火大会・ゲートボール等、案内があれば、利用者を連れて、見学したりボランティアに参加している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>同法人は介護保険事業以外にも、生きがい支援やパワーリハビリ参加後のサポートを行っている。又台風時には施設を開放し、希望者には食事の提供をしている。</p>		
3.理念を实践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>意義を理解し、評価を活かし、できる事から少しずつ改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域・行政・家族・利用者・職員を交え、年6回の会議を行ない、利用者の状況報告やサービスの実際の評価の、取り組み状況について話し合いを行ない、外部との意見交換等によりサービスの向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者らと運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>介護保険更新時の手続きや書類等の提出物など行き来する機会があり、又、月一回の併設施設合同の在宅会議の情報提供により、サービスの向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>朝倉介護保険事業者協議会の中でスタッフセミナーに積極的に参加している。又、併設施設合同の研修会等でも学び、取り組んでいる</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>朝倉介護保険事業者協議会によるスタッフセミナーに積極的に参加し、又併設施設合同の研修会等でも学ぶ機会があり、報告・防止に努めている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだし解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際、説明をして利用者や家族に不明・疑問点を伺い、その点に関しては十分な説明を行い、理解を図っている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議で伺っている、法人全体に第三者評価委員会を設けているので、開催時に巡視を受け委員の意見、総括を全員で共有している。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>居宅療養管理指導後は家族へ電話で報告している。健康状態については、随時報告、面会時や面会の少ない家族に対しては、個々に合わせてしている。個々の面会簿(ふれあい通信)を活用している</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情や意見が地域や他部署の職員から寄せられと、施設在宅会議でオープン化し、その場で解決できるよう取り組んでいる。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎年2月には翌年度の事業計画を職員達で作るようにしている。年2回管理者は全職員と個々に、面談し、悩みや仕事の内容を話し合い、事業計画に活かすようにしている。提案書は改善できれば評価するようにしている。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>状況の変化、要望を早めに把握することに努め柔軟な対応が出来るよう調整を図っている。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>退職者の補充や本人の異動希望以外は現在まで異動していない、</p>		<p>最大限の注意を払いながら、マンネリ化を防ぐために少しの異動は図っていききたい</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援			
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の募集は皆平等にしてい(選べる状況にもない)</p> <p>毎月の勤務表を併施設担当者が、作成することで公平な業務分担をしている。</p> <p>社会参加や自己実現が出来るよう有休取得は100%に近い</p>	
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>職員研修会や朝倉介護保険事業者協議会のスタッフセミナー等に出席し、研修したことをもとに、人権教育や啓発を図っている。</p>	
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月1回は全職員研修会及び職種研修会をして育成に努力している6ヶ月以内新人については同一担当者が育成し、チェックと確認でレベルの向上を図っている。</p>	
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>朝倉介護保険事業者協議会会員の交流や勉強会をしている、又同法人内の4施設との交流をしている。</p>	
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員親睦旅行や食事会など法人で取り組んでいる、昼休み等・休憩時のコーヒー無料サービス、休憩室の整備、法人がソエウルクラブ(福祉厚生組織)に入会し一人一万円の会費を負担しているので、観劇や記念品の贈与等の選択メニューを選べるようになっている。</p>	
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている</p>	<p>職員個々の自己評価表を毎月1回提出することにより、個々の実績や状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>初めて会った時からその方の様子や言葉を応対する中で、少しでも求めていることを聴き取り、細めに把握、受容の心で、視線・うなずき等からも感じ取るようにしている。言葉できちっと伝えることの出来ない利用者もおられるため、同じ目線にて対話し、充分話を聴いて、その表情からも感じ取れるようにする</p>	<p>同じように対応する</p>
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入所希望の連絡があった時から家族からの話を十分に聞く</p>	<p>同じように対応する</p>
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」ま ず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>家族の話により何を希望されているかを、十分に伺うよう努めている</p>	<p>同じように対応する</p>
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならぬように徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入所されたときより、朝・夕の挨拶をすることから少しずつ利用者の方が和める雰囲気作り、その場におられる際、どのような表情をされるか等も、含め細やかな把握をしながらスムーズになじめる環境作りをしている。</p>	<p>同じように対応する</p>
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>回想やその方の歴史の中から何が出来るかそして現在もそのことが、どのくらい活かせるのか等、言葉の端々も見逃さないよう努め、出来ることを継続いただく為の支援を行うよう努めている</p>	<p>同じように対応する</p>

グループホーム ローズハウスいしずえ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ふれあい通信でその月の状況をお知らせしている。又日頃の状況も面会時、細めに伝えたり、家族からの情報提供も頂き、支えあうよう努めている		今後も同様に取り組んでいきたい
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している	グループホームで生活される中での、家族の方に対する思い等、伺った際には、面会時細めに伝え、良い関係に向けた支援に努めている。		今後も同様に取り組んでいきたい
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている	ご近所の方や知人の方の区別なく面会の際には、和室・ご本人の居室、時には皆さんのおられる食堂で、いつ来園して頂いても良いように空間をもうけている。		今後も同様に取り組んでいきたい
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わら合い、支え合えるように努めている	合う合わないの関係もありますので、日ごろの利用者間の状況を細めに把握し、良い関係が継続できるよう支援している。		今後も同様に取り組んでいきたい
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所された方に対しても家族からの色んな面での質問等、又来園時には、今まで同様の対応に努めている。		今後も同様に取り組んでいきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日頃の一人一人の状態・状況把握は職員間で気づきを共有し、本人の思いや意向に添えるよう努めている。思いや希望はケアプランの中に取り組み。職員間で同じ取り組みが出来るよう統一を図っている</p>	<p>今後も同様に取り組んでいきたい</p>
36	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>個々の情報の共有、及び家族との良い関係作りに努め両方の情報提供により把握に努めている。入所前のサービス利用は、入所時のフェースシートにて把握している</p>	<p>今後も同様に取り組んでいきたい</p>
37	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>本人の一日の様子を記録する事で、状態がわかるようにしている。いつもと違った様子が見られる時は、記録に残し、職員間での共有化を図っている。</p>	<p>今後も同様に取り組んでいきたい</p>
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日頃の言葉の中から、又家族の方からの要望・意見を伺い、その人に何が必要なのかを考慮しながら計画に反映できるようにしている。</p>	<p>今後も同様に取り組んでいきたい</p>
39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6ヶ月毎の見直し、あるいは2・3ヶ月となる場合も、様子に変化が見られたときは、ケアプラン期間内でも変更を行い、その旨を家族にも伝え、ケアプランの説明をし、納得・了解の上、サインを頂いている。</p>	<p>今後も同様に取り組んでいきたい</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員間で情報を共有しながら記録をおこない振り返り(見直し)をしている		今後も同様に取り組んでいきたい
3.多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同施設内に併設の他事業部(高齢者筋力トレーニング事業)との連携をとりながら支援に努めている。		今後も同様に取り組んでいきたい
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	月2回読み聞かせボランティアの受け入れを行っている。年3回消防署立ち入りによる、防火非難訓練(利用者も参加)を実施している。小・中学生の学習体験等の受け入れもしている		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	朝倉市高齢者筋力トレーニング(パワーリハビリ)を必要に応じて、本人の意向や家族の話し合いにより支援している。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2ヶ月に1回の運営推進会を通して、家族や地域の民生委員、老人会長、区長、地域包括支援センターの方たちと協働している。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族とは受診関係を密にし、支援を行っている。		

グループホーム ローズハウスいしずえ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	脳神経外科の医師が主治医であり、月に一度居宅療養管理指導がある。		
47 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	併設の通所介護の看護師(兼務)が週に一度介護職としてシフトに組まれており、気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。		
48 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	家族からの情報や医療機関のソーシャルワーカーと直接面会したり、電話で情報を交換をして、利用者が安心して生活できるよう連携をとる		
49 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所の際家族との話し合いで決めてあり、その時の状態により家族等、ならびにかかりつけ医師と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。		
50 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化した利用者の支援をどうすれば一番良いかを主治医と相談しながら状態把握に努めている。かかりつけ医師と相談しながらチームとしての支援に取り組み、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。		
51 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用者のADLや性格、得意とされてある物などを詳しく説明し、情報交換を行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者一人一人の誇りやプライバシーを尊重し、言葉遣いはできる限り標準語や尊敬語で対応し個人の情報管理を徹底を図っている。</p>	
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたりわかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたい納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>利用者の言葉の端々や利用者間の対話の中からその人の思いを見いだすことに努め、個々の理解に合わせた言葉かけにより支援を図っている</p>	
54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員側の業務を優先するのではなく利用者の状態に合わせた支援を行っている。朝は新聞・読書・TV観賞・プリンターの水遣り・草花の手入れ・グループワーク(体操・園内散歩)参加・夜は日記を書かれたりと個々のペースに添っている。</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>毎日整容の時間が決まっており、その時間帯で利用者におもいの化粧をしていただいている。理容は週1度理容店が来られるので、本人が望むときにカットしてもらっている。又個人で決められた美容室の利用も家族の対応である</p>	
56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>毎食利用者と共に食事に準備を行い、盛り付け・配膳・引き善・食器洗い・米とぎ等個人の出来る範囲で取り組んでいる。又個人の好みの食事アンケート調査もある。</p>	
57	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>10時、3時におやつ時間を設けて対応しているが、理解のある利用者に関しては、居室での嗜好品を管理して頂き(職員も管理)に本人の好みに添っている</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人一人の排泄パターンに合わせて、排泄誘導及び一部介助を行っている		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯は決められているが、それ以外の希望のある方は毎日の入浴もある。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の生活習慣や状態に応じて、食堂のソファや和室で休まれたり居室の戻って休まれたり本人の思いのままに休まれる。危険防止の為に細めな把握に努めている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	季節ごとの催しの作品作りや飾り付けを一緒に行いながら、季節感を感じてもらい、毎月の誕生会にも参加していただく。日常ではその方の出来る範囲での役割を持っていただくよう支援している。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	理解のある方に関しては、個人管理で所持されている。それ以外の方に関しては買い物や外出時に職員管理により現金を渡し買い物をしていただいている。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日には園外散歩に行き外の景色を見ながらリフレッシュしていただいている。外出ドライブ計画を立てて、戸外に出かけられるよう支援を行っている。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している	外出可能な方は、ご家族と共に外出を自由にされるよう対応を行っている。		紅葉狩りや外食を家族と共に行ったりするなど、外出の支援をしたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状作成、ご本人に声掛けをして、代筆したりしたが年賀状の返事は自分で書かれた。 ふれあい通信の発行 2ヶ月に1回予定		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族やご親戚は折りにふれて見えている。 園での催しの夏祭り演芸会敬老週間等、お知らせして来園の声掛けをしている		
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており身体拘束をしないケアに取り組んでいる	心に寄り添う事に重点を置き、興奮がおさまるまで安全第一に待つ対応をしている		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室については常時開放している。 玄関については時間帯を決め、開放していたが、今年に入り 帰宅願望の強くなられた方がおられ、開放を中止している。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	目配り気配りをしながら、さりげなく所在様子の確認をしている。 夜間は入り口ドアを少し開け把握している利用者もある		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居時よりすべての持ち物に名前を記入しチェックリストに載せている。 その後の持込品も申告していただいで管理している		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	危険に対する予測を察知することを、心がけて把握している。 危険箇所点検表を毎月一回提出し、開示している。 ナースコール・センサーマットを利用している。		

グループホーム ローズハウスイしずえ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを作成し、常時マニュアルを確かめられるように、スタッフルームに置いている。消防署の救急対応訓練にも参加している。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎晩・遅出帯に防火避難訓練をしている。定期的に園主催の避難訓練が実施されている。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	ご家族とは必要に応じ、連絡を取りお話をしている。一人一人の生活パターンに合わせ自由に生活できるよう支援している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	異常に気づいたら他職員にも申し送り目配りをして、把握に努めている。入浴前の三検・異常時の三検すべてを記録に残し連携を図る。看護に連絡し支持をもらったり主治医の支持をいただくこともある。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された薬はファイルに閉じて、往診時Dに報告し、状態に合わせて、処方されているので、職員は確認しながら対応している。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	園内散歩・リハビリ体操等を行っているが、充分には動けていない。飲食物は工夫し摂取(毎日手作りカスピカイクーグルトを作っている)		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアの声かけを行ない、自分できない方は洗面台まで誘導し、声かけ、見守りを行う。週一度、義歯洗浄剤を使用して清潔に保持している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の状態に合わせてなるべく多く摂取できるように、食事を刻んだりの対応をしている。 食事の摂取量のチェックを行い、おやつの時間、入浴後等に水分摂取の声かけを行っている。必要に応じペットボトルにお茶を入れ利用者に配り対応している		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり 実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	うがい、殺菌石鹸による手洗いを励行している。洗濯物も必要に応じて個別に洗っている。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日食材を業者に配達して頂いている。調理器具は定期的に消毒をしている。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	利用者の作品等、展示して見ていただけるよう工夫をしている。 入り口案内板等設置、ベンチ等を設置し寛げる工夫をしている		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないよう配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔にすることを心掛けて汚物等の速やかな始末に努めている。 生花 観葉植物の設置、ブラインドを利用し日光の調節をしている。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり 気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	掘り炬燵のある和室があり 寝そべったり しながら談笑できる場所がある。 誰でも利用できるソファを休憩ポイントに設置し談笑できるスペースを作っている。		

グループホーム ローズハウスいしずえ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人やご家族の意向を大切にしている。 使い馴染んだ物品を活用している。		
86	換気 空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気 空調の管理は細めに行っている。 ご本人に合った空調管理をしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ベットより離床する際居室内での転倒等を防ぐ為センサーマットを設置している。 又ベットとトイレの距離を近位にしている		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個人の能力状態に配慮しながらプライトを傷つけないよう食事作り洗濯物干し・たたみ等の協力をして頂いている。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり活動できるよう活かしている	グループワーク等にできるだけ散歩を取り入れ、建物の外回りの花壇を見学したり、ベランダのプランターにハーブやお花を育て、たまにはハーブティを飲まれながら、楽しんでいる		

.サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の 2/3 くらいの	
		利用者の 1/3 くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に 1 回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の 2/3 くらいと	
		家族の 1/3 くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム ローズハウスいしずえ

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の 2/3 くらいが	
		職員の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の 2/3 くらいが	
		家族等の 1/3 くらいが	
		ほとんどできていない	

【時に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

演芸会や夏祭りなどの年間行事では、ただ参加するだけではなく、曲目やステージ衣装・小物などの製作を一緒に行っています。時間を共有する事で、利用者の色々な表情に触れ、利用者の個別支援へと、繋げていけるように、取り組んでいる。

少しでも多くのことに共感し、同じ